



市民のくらし応援の政治を

日本共産党



新しい年を迎えました。

安倍首相は、憲法改悪や消費税増税に執念を燃やしているなかで、正念場の年となります。医療、介護、年金など社会保障、平和、地方自治を守るために力を合わせましょう。

今年、7月に参議院選挙があります。市民と野党の共同の力で、安倍政治を終わらせましょう。

日本共産党は、子育ても老後も、安心して暮らせる政治をめざして、全力で奮闘する決意です。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



- 市議会議員 金子としえ
- 市議会議員 山田とし子
- 市議会議員 新井たくみ
- 市議会議員 滝沢おさむ

私たちも力をあわせてがんばります



党県民運動委員長 伊藤 岳



元衆議院議員 梅村さえこ

新飯能

日本共産党飯能市議団の議会報告をお届けします。
2019年 新年号 日本共産党飯能市委員会 042-973-1091 FAX973-1079



元衆議院議員 梅村さえこ

伊藤 岳

参議院選挙で安倍暴走政治にストップを

安倍首相は、臨時国会で「外国人の使い捨て労働を一層助長する「入管法改定」、民営化で安全・安心な水を危険にさらす「水道法改悪」などを強行しました。まともな審議なしの強行に多くのマスコミも批判しています。

7月の参議院選挙で、日本共産党の躍進のために力をかけてください。日本共産党は、他の野党と力をあわせて安倍暴走政治にストップをかけます。



1世帯あたり年8万円の負担増です。家計消費が冷え込んでいるなかでの増税はさらに景気を悪くします。所得の少ない人ほど負担が増え、貧困と格差を広げるだけです。財源は大企業と富裕層に応分の負担を求め、税金の集め方、使い方を見直します。



朝鮮半島で平和の動きが起こっているとき、憲法に自衛隊を明記し、戦力保持を禁止した9条2項を空文化し、海外での武力行使を無制限にすることは「時代錯誤」です。憲法9条を生かした外交で世界の平和に貢献します。

飯能の空をオスプレイの訓練場にするな

危険なオスプレイ5機が横田基地に配備され、さらに5機が追加される予定です。飯能市の上空を頻繁に飛び交っていますが、このオスプレイは夜間・低空飛行が主な任務。山岳地域をかかえる飯能市は飛行訓練場になることが懸念されます。オスプレイ配備撤回を強く求めます。



市民のみなさんと力をあわせて くらしと福祉を守るために奮闘



市民アンケートに寄せられた要求を、129項目にまとめて要望しました = 大久保勝市長に要望する日本共産党議員団(2018年10月23日)

2018年の主な活動

市長への申し入れ、要望活動

- オスプレイ配備撤回を求める緊急要望
- 保育所待機児童の解消に向けた緊急申し入れ
- 請願の紹介議員となって奮闘
- 消費税増税中止請願
- 東海第二原発再稼働しないよう求める請願

住民アンケートの実施

阿須山中(アズヤマナカ)での大規模太陽光発電についての住民アンケートを実施

一般質問の主なもの

- 学校給食の無償化を
- 保育所待機児の解消、保育士の処遇改善
- 国保・介護保険の負担軽減と改善・充実
- 公共交通 = 住民の「足の確保」を求める
- 学童保育の充実を求める
- 県水の協定見直しを
- 下水道・区画整理の整備推進
- 清川橋の早期かけ替えを
- 元加治駅南口開設を
- 飯能河原観光トイレ問題について
- 消費税増税中止、オスプレイ配備撤回を求める

日本共産党飯能市議団は、議会の質疑・一

般質問で、市民のくらしと営業、福祉、教育を守る立場で奮闘しました。また、市長への予算要求、申し入れ、懇談などで市民要求実現に力を尽くしてきました。

待機児童解消へ緊急対策

年度当初、保育所に入れない児童は77名。日本共産党は緊急対策を強く求め、6月補正予算で、30名入所できるようになりました。しかし、保育士の確保ができず入所は10名に留まりました。保育士の処遇改善や採用試験の改善などを求めています。

大規模学童解消へ 双柳小学童まもなく完成へ

80名を超えるような大規模な学童の分割を求めてきましたが、双柳学童クラブがまもなく完成します。富士見小校区には4月から、旧勤労青少年ホームに整備されます。引き続き、分割・整備を求めています。



国保税大幅値上げをストップ

県単位化で、国保税が4割値上げと試算されていましたが、日本共産党の国会論戦と一般会計からの繰入で値上げしないよう求める署名などに取り組み、ストップさせました。しかし、市は県へ「来年度はわからない」としていることから、「値上げやめよ」の声を強めていきたいと思います。

公共交通網形成計画策定へ

市民の願いである住民の「足の確保」のための「地域公共交通網形成計画」が策定されました。この計画を具体化させることが必要です。地域のみなさんと一つひとつ実施させる取り組みをすすめていきたいと思います。



介護保険 負担軽減・利用しやすい制度に

介護保険料は「うなぎのぼり」大幅な自己負担増、介護サービスのカット。これでは、「負担あって介護無し」です。国の負担を増やすことと独自の軽減策を求め、誰でも使いやすい介護保険制度に向けた提案をしています。



下水道事業 企業会計全部適用に反対

12月議会に下水道事業に公営企業法の規定を全部適用する条例案が出されました。これまで国が強力に求めてきたものですが、一部適用のみ適用している自治体も多くあります。全部適用によって、一般会計からの繰入が厳格化され、料金の値上げにつながる懸念があります。飯能市のように下水道普及率が7割程度で、拡張用地として利用されなくなった37億円の土地代など約50億円もの「破たんした計画の費用」が市民負担となっています。これらの問題を指摘して、反対しました。



3・6ha 37億円(4万人分)の拡張用地。目的外使用として、現在はソーラー発電をしている。